

活動報告書

2023年10月 市川素

今年度最後の養蚕シーズンが終了しました。なかなか思うような結果が出ず、学びの多い1年となりました。

今月の主な活動

10月は今シーズン最後の晩晩秋蚕期として6万頭のお蚕を飼育しました。暑かった夏場のシーズンとは打って変わって、肌寒い日が続き、それにつられてお蚕さんの成長もゆっくりゆっくりという感じでした。一体いつ繭を作り始めるのかとソワソワする日々でした。結果として10月19日に上族作業、10月30日に繭の出荷となり無事今シーズンの養蚕を終了しました。しかし、晩晩秋蚕は急激な気温の変化に対応することができず、かなりふがいない結果となってしまいました。

今シーズンを振り返ると夏蚕から晩晩秋蚕までに4回の飼育を通じて約300キロの繭を生産しました。これは他の先輩農家に比べるとかなり少ない量で、シーズン最初に目標に掲げていた350キロという数字にも及ばない結果となってしまいました。原因は多々あって、夏場のお蚕の旺盛な食欲に追いつけず桑不足になってしまったこと、夏の暑さ、秋口の急激な冷え込みに対応できず、温度管理ができなかったこと、自身が体調を崩してしまい、お蚕のお世話ができなかったことなどが考えられますが、ひとえに自身の技術不足、経験不足と言えるかと思います。養蚕は思った以上に甘くなかったというのが現在の心境です。

今年度は新しい拠点を構え本格的に養蚕に取り組んだ最初の1年でしたがほろ苦いデビューとなってしまいました。しかしそれ

以上に学びの多い1年になったとも感じています。各蚕期で出てきた課題や反省を忘れず、冬の間にはできる限りの対策をして、また来年頑張りたいと思います。そして、この半年間たくさんの方から暖かい応援のお言葉を頂くことができました。この場を借りて深くお礼申し上げます、本当にありがとうございました。

養蚕はオフシーズンに入りますが、農家として生きていくためにも冬の間は下仁田ねぎの栽培を行ったり、他の農家さんの下へ研修に行かせて頂く予定です。様々な経験をしてパワーアップしてまた来春から養蚕に取り組みたいと思います。

○ご紹介

Facebookの富岡市地域おこし協力隊のページでも養蚕日誌として日々の活動を投稿していますので是非ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/tomiokashi.chiikiokoshi>)

(*本記事の記載内容は全て私見によるものであり富岡市の公式見解ではありません)